

お手数ですが、お手元のユーザーズマニュアル IM04L06A01-01 を下記のように変更してお使いください。

- ii ページ 「警告」
 - 電源コードとプラグ (デスクトップタイプ)

下記を追加してください。

電源コードは本機器専用のものです。電源コードを他の機器に使用しないでください。

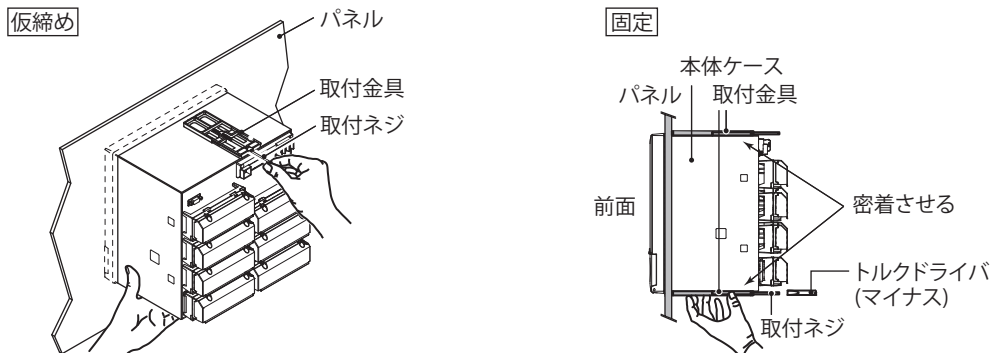
- iii ページ

注 意

本機器はクラス A の製品です。家庭環境においては、無線妨害を生ずることがあり、その場合には使用者が適切な対策を講ずることが必要です。

- 2-6 ページ 「設置方法 (パネルマウントタイプ)」

2. パネルに、付属の取付金具を用いて次の図のように取り付けます。
 - ・ ケースの上下か左右どちらかに取付金具 2 つを使います (ケースの取付金具用穴をふさいでいるシールをはがしてから行ってください)。
 - ・ パネル取付金具用ネジの適正締め付けトルクは $0.7 \sim 0.9\text{N} \cdot \text{m}$ です。
 - ・ 下記の手順に従って取り付けてください。
 - ・ 最初に 2 つの取付金具を取り付けて取付ネジを仮締めします。
 - ・ 次に適正トルクで取付ネジを締め付けて本体を固定します。このとき、本体がパネルにほぼ直角になった状態からは、取付金具を本体ケースに密着させて取付ネジを締め付けてください。



(図は取付金具をケースの上下に使う場合を示しています。)

- 2-12, 2-15 ページ 「注意」

- アラーム / FAIL / メモリエンド出力端子への接続は以下の回路電圧でご使用ください。
 - ・ 接続先が主回路 (電源 1 次側) のとき: 150V 以下
 - ・ 接続先が主回路から派生した回路 (電源 2 次側) のとき: 250V 以下 (主回路は 300V 以下で絶縁トランスを使用してください。)

- 2-21 ページ 「配線方法」

2. 電源コードと保護接地コードを、電源端子に配線します。ねじの適正締め付けトルクは、 $1.4 \sim 1.5\text{N} \cdot \text{m}$ です。

■ 5-26 ページ「5.14 画面の輝度、バックライトセーバ機能を設定する」

Note

輝度が高い(明るい)ほど輝度の低下と画面の色彩の変化(黄色みがかかる)が進みやすくなります。必要以上の高輝度で長時間の使用はお勧めできません。また、バックライトセーバとの併用をお勧めします。

■ 7-16 ページ 「4画面にを利つける画面を変更する」

「4画面」表示での操作です。変更した画面構成で、4画面を登録するときは、「8.11 4画面に名前をつける」の操作を行ってください。この操作を行わないで別の画面に切り換え、再度この4画面に戻ると、変更前の画面構成に戻ります。

■ 10-5 ページ「10.4 推奨部品交換周期」

Note

- ・ LCDの交換周期は、輝度が初期値の場合の輝度の半減期を示しています。高輝度で使用するほど輝度の半減期は短くなります。輝度の低下は、使用状態により差異があり、またその判断は主観によります。実際の交換周期は、これらを考慮して判断してください。
 - ・ LCDの画面の色彩は、時間の経過とともに黄色みがかかることがあります。輝度が高いほど画面の色彩の変化が進みやすくなります。
-

■ 11-1 ページ「測定レンジおよび測定範囲」

*2 W : W-5% Re/W-26% Re (Hoskins Mfg. Co.), ASTM E988

■ 付-15 ページ「チャンネルあたりのバイト数」

スキャンごとの日時データのデータサイズを「6バイト」に変更してください。計算例においても、スキャンごとの日時データのデータサイズ「8バイト」を「6バイト」に置き換えてください。

表示データ

CH1	CH1	CH2	CH2	CH3	CH3	CH4	CH4					日時データ (6バイト)
min	max	min	max	min	max	min	max					

イベントデータ

CH1	CH2	CH3	CH4	CH31	日時データ (6バイト)

■ 付-20 ページ「メモリスター中の時刻修正機能」

メモリスター中に時刻変更すると、時刻を1秒間に15.625ミリ秒ずつ修正して変更。